

研究者の横顔			
フリガナ	ワタナベ リュウタ		
お名前	渡辺 隆太	助成金額	100 万円
ご所属	愛媛大学医学部附属病院		
研究テーマ	日本人前立腺癌PDX・オルガノイドを用いたシングルセル解析による革新的ゲノム医療の実装		
1：研究者になろうとしたきっかけ			
<p>泌尿器科医としてがん診療に携わる中で、治療の限界を感じるがありました。がんの仕組みをより深く理解し、新しい治療法の開発に貢献したいと考えたことが研究を始めたきっかけです。アメリカで最先端の研究に触れることを目指して大学院で研究をスタートし、現在はその経験を生かして前立腺がんの分子研究に取り組んでいます。</p>			
2：助成研究の内容紹介			
<p>前立腺がんは男性で最も多いがんであり、治療を重ねても再発や転移を起こすことがあります。本研究では、日本人の患者さんから得られた腫瘍組織をもとに作製したモデルを用いて、がんの特徴や治療抵抗性の仕組みを解析しています。</p> <p>日本人に特有のがんの性質を明らかにし、より効果的な治療法の開発につなげることを目指しています。</p>			
3：2の将来に繋がる結果予想・目標			
<p>本研究では、希少型を含む前立腺がんの分子異常を詳しく解析することで、治療抵抗性を示す仕組みを明らかにしたいと考えています。これにより、がんのタイプごとに最適な治療法を選択できるような個別化医療の実現につなげることを目指しています。将来的には、得られた知見を臨床現場に還元し、治療が難しい患者さんの選択肢を広げたいと思います。</p>			
4：全国の RFL 関係者に一言メッセージ			
<p>このたびはご採択いただき、また温かいご支援を賜り、心より感謝申し上げます。</p> <p>前立腺がんの治療向上を目指し、臨床と研究の両面から取り組みを続けてまいりましたが、今回の助成は今後の研究を進める大きな励みとなります。一つひとつの成果を社会に還元できるよう努力し、がんで苦しむ方々の希望につながる研究を進めていきたいと考えています。今後とも温かいご支援を賜りますようお願い申し上げます。</p>			